

平成24年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

平成24年度は、下記の重点事業に沿って、関係機関や団体と密接に連携・協働しながら、各種事業に取り組みました。

「安心生活創造事業」による地域ごとの見守り活動等を平成28年度までに全市で展開できるよう、安心生活創造事業の推進に特化した業務を行う「地域支援係」を新設しました。全国でも高い評価を得た黒羽・佐久山・紫塚地区の取り組みを基に、大田原市、地域包括支援センター、関係協力機関・団体と連携し、新たに親園・大田原西部地区の2地区を立ち上げました。

また平成25年度発足予定の大田原東部・須賀川・湯津上地区の3地区への説明会を行い、情報提供・連絡調整などに努めました。

「各地区社会福祉協議会」は市内12地区にあり、地域住民が主体となり地区内の地域福祉を進めていますが、各地区の「福祉委員」による見守り活動を、安心生活創造事業による見守り活動と一体となって取り組めるように、情報提供や研修会を行いました。

また、社協は「大田原市地域福祉活動計画」として、住民が主体的に地域福祉活動を展開するための指針を定めましたが、策定から4年を経過したことから、計画見直しのための推進委員会を開催しました。ボランティア団体をはじめ、関係機関・団体の幅広い取り組み状況の把握と計画の進捗状況をまとめました。

さらに、東日本大震災時の災害時ボランティアの支援経験を生かし「災害にも強い地域づくり事業」を推進し、国際医療福祉大学や関係機関・団体と連携したボランティア振興のための講座の企画・開催などに取り組みました。

このほかに高齢者や障害者、その家族など、介護や生活支援を必要とする方へのサービスとして、介護保険による居宅介護支援事業・訪問介護事業、障害福祉サービス事業、日常生活自立支援事業（あすてらすおおたわら）などの事業を実施しました。

＝平成24年度重点事業＝

- (1) 地区社会福祉協議会活動への支援
- (2) 安心生活創造事業の推進と支援
- (3) 福祉委員の活動支援

目 次

1	理事会・評議員会の開催	3
2	事業実施状況	
1)	「福祉を支える人づくり」をめざして	
①	会員加入の推進	6
②	福祉委員活動の推進	6
③	ボランティアセンター事業の推進	7
	ア ボランティア講座の開講	
	(1)茶話会&カフェ	7
	(2)災害ボランティア講座	7
	(3)中高生が考える福祉のまちづくり in 大田原	7
	イ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力	8
	ウ～オ ボランティア保険・登録・機材貸与	8
④	福祉教育の推進	
	ア 福祉冊子「ともに生きる」の発行	9
	イ おおたわら小中学校福祉教育（ふくし共育）研究会	9
	ウ 学校等への福祉教育の支援	9
⑤	広報事業の推進	11
2)	「福祉を支える地域づくり」を目指して	
①	地区社会福祉協議会活動の支援	11
②	小地域ネットワーク活動の推進	12
③	安心生活創造事業の推進	13
④	食事サービス事業への支援	18
⑤	総合相談事業の実施	19
⑥	地域福祉活動計画の推進	19
⑦	市福祉センター、市ボランティア活動センターの管理運営	20
	おもちゃの図書館」運営	20
3)	「生きがいのある地域づくり」を目指して	
①	地域福祉啓発イベントの開催	20
	ア 産業文化祭等への参加	20
	イ ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援	20
②	生きがい講座の開催	21
③	災害にも強い地域づくり事業の推進	21
	ア 災害ボランティアセンター運営連絡会の設置・開催	21
	イ 「災害ボランティアセンター運営指針」の作成	22
	ウ 避難している人への支援	22
④	歳末見舞金の配付	22
4)	「健康に生活するための環境づくり」を目指して	
①	ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業の推進	22
②	友愛訪問活動への支援	22
③	日常生活用具貸与事業の推進	23
④	低所得者対策等の推進	23
	ア 生活福祉資金の貸付・償還	23
	イ 福祉金庫の貸付	23
⑤	居宅介護支援事業・訪問介護事業の推進	24
	ア 介護保険法による在宅サービス事業所としての事業	24
	イ 介護予防支援事業の業務受託	24
⑥	障害福祉サービスの推進	25
⑦	受託訪問介護事業の推進	25
⑧	高齢者等外出支援事業の推進	25
⑨	日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進	25
⑩	福祉サービス苦情解決に関する第三者委員会の設置	26

5) 財産基盤の確立

- ① 共同募金事業への協力推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ② 善意銀行の運営推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ⑥ 地域福祉資金（ぎんなん基金）の推進・・・・・・・・・・ 28

3 その他の事項

- 表彰等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

1. 理事会・評議員会の開催

1) 理事会の開催

<p>○第1回理事会 平成24年5月24日 午後3時30分～ 市福祉センター</p> <p>=議案=</p> <p>議案第 1号 平成23年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の認定について</p> <p>議案第 2号 平成23年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支決算の認定について</p> <p>議案第 3号 平成23年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支決算の認定について</p> <p>=会計監査報告=</p> <p>議案第 4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について</p> <p>=報告=</p> <p>報告第 1号 会長の専決処分事項の報告について（平成23年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)について)</p>
<p>○第2回理事会 平成24年12月25日 午後3時30分～ 市福祉センター</p> <p>=議案=</p> <p>議案第 5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について</p> <p>議案第 6号 平成24年度善意銀行払い出しの配分について</p> <p>議案第 7号 平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について</p> <p>議案第 8号 介護保険事業等事業所の統合について</p> <p>=報告=</p> <p>報告第 2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公用車運行管理規程の制定について</p>
<p>○第3回理事会 平成25年3月27日 午後1時30分～ 市福祉センター</p> <p>=議案=</p> <p>議案第 9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について</p> <p>議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について</p>

議案第 1 1 号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公印規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 1 2 号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 1 3 号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 1 4 号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 1 5 号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 1 6 号	大田原市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 1 7 号	大田原市社会福祉協議会湯津上事業所（指定居宅介護支援）運営規程を廃止する規程の制定について
議案第 1 8 号	大田原市社会福祉協議会黒羽事業所（指定居宅介護支援）運営規程を廃止する規程の制定について
議案第 1 9 号	大田原市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 2 0 号	大田原市社会福祉協議会黒羽事業所（訪問介護）運営規程を廃止する規程の制定について
議案第 2 1 号	大田原市社会福祉協議会指定障害福祉サービス居宅介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 2 2 号	平成 2 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について
議案第 2 3 号	平成 2 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支予算（案）について
議案第 2 4 号	平成 2 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支予算（案）について

2) 評議員会の開催

○第 1 回評議員会	平成 2 4 年 5 月 2 8 日	午後 1 時 3 0 分～	市福祉センター
＝議案＝			
議案第 1 号	平成 2 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について		
議案第 2 号	平成 2 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支決算の承認について		
議案第 3 号	平成 2 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支決算の承認について		

=会計監査報告=	
議案第 4号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について
=報告=	
報告第 1号	会長の専決処分事項の報告について（平成23年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)について)
○第2回評議員会 平成24年12月27日午後1時30分～ 市福祉センター	
=議案=	
議案第 5号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について
議案第 6号	平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
議案第 7号	介護保険等事業所の統合について
=報告=	
報告第 2号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公用車運行管理規程の制定について
○第3回評議員会 平成25年3月28日 午後1時30分～ 市福祉センター	
=議案=	
議案第 8号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について
議案第 9号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について
議案第10号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公印規程の一部を改正する規程の制定について
議案第11号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について
議案第12号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について
議案第13号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
議案第14号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について
議案第15号	大田原市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第16号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会湯津上事業所（指定居宅介護支援）運営規程を廃止する規程の制定について
議案第17号	大田原市社会福祉協議会黒羽事業所（指定居宅介護支援）運営規程を廃止する規程の制定について
議案第18号	大田原市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第19号	大田原市社会福祉協議会黒羽事業所（訪問介護）運営規程を廃止する規程の制定について

- 議案第20号 大田原市社会福祉協議会指定障害福祉サービス居宅介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第21号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画(案)について
- 議案第22号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について
- 議案第23号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支予算(案)について
- 議案第24号 役員の選任について

2. 事業実施状況

1) 「福祉を支える人づくり」をめざして

① 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めた。

[会員加入の状況]

	会費	会員数	納入会費金額	前年比
普通会员	500円	16,638 世帯	8,336,150円	99.9%
特別会員	1,000円	752 事業所	875,500円	101.8%
賛助会員	5,000円	28 施設	136,000円	97.1%
計			9,347,650円	100.02%

② 福祉委員活動の推進

福祉委員は、各自治会1名以上の自治会長の推薦により169名で活動を行った。小地域ネットワーク活動の中核として、ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯などに対する見守り活動を行った。また、新任者の研修や、福祉委員、自治会長、公民館長、民生委員・児童委員とが連携した合同研修会を開催し、安心生活創造事業未実施地区において、ネットワークカードを作成し、見守り活動を行った。

○ネットワークカード作成状況

地区	大田原地区	黒羽地区	湯津上地区	計
作成対象者	287人	146人	29人	462人

③ ボランティアセンター事業の推進

ア. ボランティア講座の開講

(1)ふくし茶話会&ボランティアカフェ

学生と地域住民が語り合いつながらる場をつくり、地域の福祉活動に学生の力を生かしていくことをねらいとして開催した。さらに地域住民と学生が協力して新たな活動に取り組むことのきっかけづくりとなることもねらい、国際医療福祉大学 I UHW ボランティアセンターと合同で開催した。団塊の世代の方の積極的な参加もあり、若者との世代間交流にもなった。

- ・ 日 時： 12月5日（水） 午後6時30分～8時30分
- ・ 場 所： 国際医療福祉大学 I UHW ボランティアセンター
- ・ 参加者： 37名
- ・ 内 容： ゲストのお話を聞いた後、グループでふくし（ふだんのくらしのしあわせ）のために、学生にできること、地域にできることについて話し合った。
- ・ ゲスト： 世代間交流喫茶いってみつけ 實寿夫さん
学生ボランティア黒羽盛り上げ隊 八代絢子さん、曾根俊介さん

(2)災害ボランティア講座

災害発生時に、被災した市民の自立の手助けとなるように、また、全国から集まる災害ボランティアの活動を適切に支援できるように、平常時から災害ボランティアを育成することをねらいに実施した。

- ・ 日 時： 2月2日（土） 午前10時～午後3時40分
- ・ 場 所： 大田原市福祉センター
- ・ 参加者： 62名
- ・ 内 容： 講義 災害ボランティアセンターについて
演習 災害ボランティアセンター開設・運営訓練（ロールプレイ）
- ・ 講 師： 栃木県社会福祉協議会地域福祉ボランティア課職員
- ・ その他： 炊き出し訓練（協力：大田原西部地区社会福祉協議会）
- ・ 社協職員の参加：災害発生時においても、市民の生活を支えるために社協職員がかかわるといった共通の認識をもつために、職員も講座を受講した。

(3)中高校生が考える福祉のまちづくり in 大田原

感受性豊かな年代である中・高校生が、福祉のまちづくりの担い手となっていくことをねらいに実施した。

様々な状況で暮らしている地域の方の実情を理解するために、地域の方や障がい当事者と一緒に、災害発生時の避難所運営ゲーム等を行った。

- ・ 日 時： 8月7日（火） 午前10時～午後3時30分

- ・場 所： 湯津上地区公民館（雨天のため屋内で実施）
- ・参加者： 56名
- ・テーマ：「災害から学ぼう！**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」
～地域のつながりを考える～
 - 聴くってどんなこと？～傾聴を学ぶ～
 - 炊き出し訓練
 - 講話 「まちづくりで大切なこと」
 - HUG 避難所運営ゲームをやってみよう。
 - ふり返り・分かちあい・まとめ

イ. 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布 等）への連携・協力を行った。

ウ. ボランティア保険の加入促進

種 別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入数	前年比
Aプラン	280円	1,400万円	2256人	2,180人	103.5 %
Bプラン	420円	2,000万円	396人	310人	127.7 %
天災タイプA	490円	1,400万円	223人	461人	48.4 %
天災タイプB	720円	2,000万円	48人	41人	117.0 %
計			2923人	3,000人	97.4 %

エ. ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行った。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行った。

区 分	団体数	登録者数
平成24年度	130団体	3,580名
前 年 度	127団体	3,348名

オ. ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めた。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	13 台	カセットテープレコーダー	0 回
アイマスク	44 枚	移動式スクリーン	4 回
点字盤	39 台	ビデオ・DVD	0 回
点字プリンター	10 回	書籍等	0 回
高齢者擬似体験用具	51 体	その他	8 回

④ 福祉教育の推進

ア. 福祉小冊子「ともに生きる」の発行

福祉教育の副読本として、福祉小冊子「ともに生きる」を市内の小学校1年生（800部）、4年生（900部）、及び中学1年生（800部）を対象に配布し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めた。

イ. おおたわら小・中学校福祉教育（ふくし共育）研究会

「ともに生きる」第5回改訂の内容及び活用方法等についての協議を行うこと、児童・生徒に対する「地域でともに生きる力」を育むことをねらいとした福祉教育（ふくし共育）について検討すること等をねらいに、「おおたわら小・中学校福祉教育（ふくし共育）研究会」を設置した。

改訂では、地域で『共に生きる力』を育むことをねらいとし、地域に関心を持てるよう、また「障がい」のとらえ方について協議を重ね、内容を工夫した。

- ・ 研究会委員数：42名（教育関係者・福祉関係者・障がい当事者・ボランティア等）
- ・ 研究会開催回数：全体会（2回）・調整会議（2回）
小学校低学年部会（5回）・小学校高学年部会（5回）
中学校部会（4回）
- ・ 福祉教育副読本「ともに生きる」：小学校低学年用・小学校高学年用・中学生用・教師用手引き

ウ. 学校等の福祉教育への支援

小中学校等の学校教育の現場へ、障がい当事者や、福祉教育支援ボランティア「ささえ」を中心とする地域のボランティアとともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援した。

福祉とは「ふだんのくらしのしあわせのためのもの」であり、自分やまわりの人にも関係するものであることを児童・生徒に伝えた。また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などを行った。

○学校等への福祉教育実施状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数	内容
1	6月 5日	佐良土小	3年生	9人	福祉の話、車いす
2	6月 5日	佐良土小	4年生	8人	福祉の話、車いす
3	6月 6日	薄葉小	6年生・保護者	70人	高齢者疑似体験・車いす・アイマスク
4	6月19日	親園中	3年生	28人	福祉の話、高齢者疑似体験
5	6月29日	寒井小	5年生	12人	福祉の話、高齢者疑似体験、車いす
6	7月 4日	湯津上小	4年生	9人	福祉の話
7	7月 9日	両郷中央小	4年生	21人	福祉の話、高齢者疑似体験、車いす
8	7月10日 ・11日	西原小	4年生	168人	福祉の話、高齢者疑似体験
9	7月19日	宇田川小	4年生	12人	福祉の話、アイマスク、車いす
10	8月29日	金田南中	3年生	34人	福祉の話・車いす・高齢者疑似体験・アイマスク、手話
11	8月30日	宇田川小	4年生	12人	高齢者疑似体験
12	9月 3日	佐良土小	1年生	13人	アイマスク
13	9月 3日	佐良土小	2年生	13人	手話
14	9月 6日	蛭田小	4年生	10人	アイマスク、高齢者疑似体験
15	9月11日	佐良土小	6年生	11人	介護体験
16	9月25日	親園小	3年生	28人	福祉の話、車いす、アイマスク
17	9月25日	親園小	4年生	21人	福祉の話、車いす、アイマスク
18	10月 2日	片田小	4年生	6人	見えない方のお話、点字
19	10月16日	佐良土小	5年生	11人	高齢者疑似体験
20	10月18日	川西小	4年生	23人	車いす、白杖、手話、点字、障がい当事者との交流
21	10月29日	西原小	4年生	169人	手話
22	11月 1日	奥沢小	5年生	21人	福祉の話、高齢者疑似体験
23	11月 1日	奥沢小	6年生	21人	福祉の話、高齢者疑似体験

24	11月15日	湯津上小	4～6年生	32人	車いす利用者の話
25	11月16日	市野沢小	1～6年生	372人	車いす利用者・介助犬の話
26	11月28日	金丸小	5年生	23人	福祉の話、車いす、高齢者疑似体験
27	1月31日	西原小	4年生	30人	聞こえない方の話
28	2月5日	大田原小	5年生	92人	福祉の話、高齢者疑似体験
29	2月7日	両郷中央小	1年生	9人	見えない方のお話、アイマスク
30	3月1日	薄葉小	4年生	40人	手話
			合計	1,337人	

⑤ 広報事業の推進

ア. 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」を発行し各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介等紙面の充実に努めた。(年6回市内全戸配布)

また「おおたわら子ども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみが持てるよう、児童生徒に配布した。(年2回市内小中学校に配布)

イ. ホームページでの広報

事業や各種福祉サービス、ボランティア、地区社会福祉協議会活動等を紹介し、地域福祉活動の情報提供を行った。

2) 「福祉を支える地域づくり」を目指して

① 地区社会福祉協議会活動の支援

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人あたり250円の活動助成金を交付した。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりであった。

地区社協名	助成金	主な事業活動
大田原東部地区社協	526,250円	ふれあい広場、食事サービス(月1回) 「東部社協だより」発行等
大田原西部地区社協	635,250円	あったか広場、食事サービス(月4回) 「あったかだより」の発行等
紫塚地区社協	311,750円	ふれあい紫広場、食事サービス(月3回) 「むらさきづか社協だより」の発行等
金田地区社協	719,750円	食事サービス(月2回)、研修会等

親園地区社協	220,500円	食事サービス(月2回)、「親園福祉だより」の発行等
野崎地区社協	440,325円	ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス(月4回)、「ふくしのまち野崎」の発行等
佐久山地区社協	174,250円	食事サービス(月2回)、「佐久山ふくしだより」発行等
湯津上地区社協	268,750円	友愛訪問食事サービス(月1回)、世代間交流事業(縄よじり・豊年棒づくり)、地区社協だより「ゆうあい」発行(2回)、ふれあいゆうあい広場
黒羽地区社協	260,250円	友愛訪問食事サービス(月1回)、ひとり暮らし高齢者会食等
川西地区社協	332,000円	友愛訪問食事サービス(年6回)、ひとり暮らし高齢者会食会、見守り連絡体制づくり、地区社協だよりの発行、ふれあい敬老会支援
両郷地区社協	137,500円	学校安全パトロール、見守り連絡体制づくり、友愛訪問食事サービス(月1回)、地区社協だより発行、ふれあい敬老会支援
須賀川地区社協	141,500円	友愛訪問食事サービス(年8回)、ひとり暮らし高齢者会食会、ふれあい敬老会支援
計	4,168,075円	

② 小地域福祉ネットワーク活動の推進

近隣住民の見守り体制としての小地域ネットワーク活動は、平成2年度から開始され、各地区の福祉委員が、地域内のボランティアとして定期的な声かけや安否確認等を行ってきた。

また、平成21年度からは新たな見守り体制としての安心生活創造事業が始まったことから、今までの活動を生かし、安心生活創造事業による見守り活動に移行できるよう、さらに安心生活創造事業の未実施地区に重点を置き、地区社協ごとに研修会を行った。

○小地域福祉ネットワーク研修会開催状況

地 区	月 日	会 場
須賀川地区	8月24日	須賀川地区公民館
湯津上地区	12月20日	市湯津上支所
金田地区	1月15日	金田北地区公民館
両郷地区	1月21日	両郷コミュニティセンター
川西地区	1月27日	黒羽川西地区公民館
大田原東部地区	1月30日	東地区公民館

③ 安心生活創造事業

大田原市の行う「安心生活創造事業」の一部を受託し、平成21年度から地区社会福祉協議会のエリアを実施地区として、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として取り組んでいる。事業は市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携して行っている。

安心生活創造事業は少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりのことで、厚生労働省のモデル事業として始まった。

○平成21年度からのあゆみ

平成21年度 黒羽見守り助け合い隊発足

平成22年度 佐久山おもいやり隊発足

平成23年度 紫塚地区見守り隊発足

平成24年度 ちかその思いやり隊発足

平成24年度 西部地区あったか思いやりの会発足

※須賀川地区（平成25年度実施予定）においては、地元の要望により、支え合いマップの作成を先行して行った。

○黒羽見守り助け合い隊の主な活動

月 日	内 容
4月13日	第1回買物ツアー
4月27日	第1回茶わ会黒羽地区全域
6月1日	第1回推進会議
6月24日	第2回茶わ会（堀之内、北区、南区東、南区西）
8月1日	隊員研修会（救急救命講習）
8月27、28日	第2回推進会議
10月20日	第3回茶わ会（北滝、片田、亀久、矢倉）
11月11日	イベント募金（黒羽秋まつり）
11月16日	第2回買物ツアー
3月2日	第4回茶わ会（黒羽田町、前田1、2、3、八塩）
3月25日	第3回推進会議

* 対象者数 167名 * 隊員数 81名

声かけ安否確認 2,310回、 外からの見守り 426回

その他の日常生活支援 350回 合計 3,514回

○佐久山おもいやり隊の主な活動

月 日	内 容
6月15日	第1回推進会議（委嘱状交付、活動計画他）
7月10日	第1回隊長会議
7月28日	隊員研修（災害時研修）
8月29日	会食会（そば打ち名人実演、ゲーム等）
10月12日	第2回隊長会議（救急医療情報キット他）
10月26日	買い物ツアー（ザ・ビックエクストラ那須塩原）
11月18日	佐久山地区産業文化祭バザー出展、福祉相談他
2月 7日	第3回隊長会議（見守り活動実績報告他）
2月28日	第2回推進会議（事業報告他）
3月22日	新旧隊長会議

* 対象者数 163名 * 隊員数 123名
声かけ安否確認 1,431回、 外からの見守り 1,657回
その他の日常生活支援 453回 合計3,541回

○紫塚地区見守り隊の主な活動

月 日	内 容
4月21日	新旧隊長会議
5月20日	推進会議
7月14日	第1回隊長会議
10月12日	総務省防災庁モデル事業の概要説明
1月16～17日	高齢者等への住宅防火対策モデル事業設置
2月17日	第2回隊長会議

その他 自治会毎に茶道教室、寄せ植え教室、一品持ち寄りパーティー、
釜のふたまんじゅうづくり、旅行、ゴルフ大会、そば打ち、ペット
ボトル回収、クリスマスケーキ配布などを行った。

※ 対象者数 67名 ※ 隊員数 73名
声かけ安否確認 146回、外からの見守り 264回、

その他 18回 合計 428回

○ちかその思いやり隊の主な活動

月 日	内 容
4月27日	第1回親園地区安心生活創造事業説明会
5月15日	親園地区社協評議員会において説明
5月24日	第2回親園地区安心生活創造事業説明会
6月27日	親園北区自治会支え合いマップづくり
7月4日	実取自治会支え合いマップづくり
7月11日	滝岡自治会支え合いマップづくり
7月18日	親園南区・滝沢自治会支え合いマップづくり
7月25日	宇田川・荻野目自治会支え合いマップづくり
7月27日	花園自治会支え合いマップづくり
7月30日	第1回親園地区安心生活創造事業推進準備代表者会
7月31日	宇田川ニュータウン自治会支え合いマップづくり
9月19日	第2回親園地区安心生活創造事業推進準備代表者会
9月26日	第1回親園地区安心生活創造事業推進準備委員会
10月1日	親園小・宇田川小・親園中ロゴマークとキャッチフレーズ依頼
10月2日	協力関係機関団体への協力依頼
10月9日	第3回親園地区安心生活創造事業推進準備代表者会
10月16日	第2回親園地区安心生活創造事業推進準備委員会
10月25日	第1回隊長会議
11月14日	第2回隊長会議
11月30日	「ちかその思いやり隊」発足式
1月29日	第3回隊長会議
3月21日	新旧隊長会議

* 対象者 84人 * 隊員数 114人
 声かけ安否確認 外からの見守り
 その他の日常生活支援

○西部地区あったか思いやりの会の主な活動

月 日	内 容
6月 1日	第1回西部地区安心生活創造事業説明会
6月 18日	第2回西部地区安心生活創造事業説明会
7月 12日	西部地区社協自治会役員合同会議
7月 30日	原町自治会安心生活創造事業説明会
8月 21日	第2回西原自治会支え合いマップづくり
8月 22日	第2回西原自治会支え合いマップづくり
8月 30日	新明町自治会支え合いマップづくり
9月 6日	赤堀西自治会支え合いマップづくり
9月 11日	原町自治会支え合いマップづくり
9月 20日	浅野自治会支え合いマップづくり
10月 2日	赤堀東自治会支え合いマップづくり
10月10日	加治屋自治会支え合いマップづくり
10月16日	実取団地自治会支え合いマップづくり
10月31日	雇用促進住宅自治会支え合いマップづくり
12月19日	西部地区安心生活創造事業推進準備委員会
1月 8日	見守り対象者の見え消し作業
1月11日	見守り対象者の見え消し作業
1月25日	赤堀西自治会安心生活創造事業説明会
2月 4日	「西部地区あったか思いやりの会」発足式
2月25日	第1回区長会長会議
2月26日	赤堀東自治会安心生活創造事業説明会
3月 5日	西原自治会安心生活創造事業説明会
3月26日	第1回推進会議

* 隊員数 121名

○安心生活創造事業関連の視察受け入れ、実践発表一覧

NO	月 日	依 頼 者	参加人数	内 容	会 場
1	5月30日	さくら市社協・氏家地域福祉ネットワーク会	50	大田原市における「安心生活創造事業」の取り組みについて	氏家地区公民館
2	6月 1日	国立保健医療科学院長	115	地域住民との協働による高齢者の地域生活支援の	和光市国立保健医

				取り組み	療科学院
3	6月15日	金田地区民協	15	安心生活創造事業についての説明	金田北地区公民館
4	6月28日	宇都宮市 石井地区社協	29	黒羽見守り助け合い隊との交流研修	市福祉センター
5	7月10日	真崎地区(東海村)社協	30	佐久山安心生活創造事業の見守り活動の取り組みについて	市福祉センター
6	7月17日	安達地区(福島県)社協	15	地区社協と安心生活創造事業の具体的な取り組みについて	市福祉センター
7	8月 3日	那須烏山市	10	佐久山地区社協の具体的な取り組みについて 安心生活創造事業の具体的な取り組みについて	那須烏山市
8	10月11日	栃木県	149	地域支え合いセミナーで、大田原市の見守り活動の実践報告	栃木県庁
9	10月13日	栃木県(那須教育事務所)	130	県民カレッジ(防災講座)で、安心生活創造事業と東日本大震災時の活動を報告	市文化会館
10	11月20日	須賀川地区社協	20	佐久山見守り活動の取り組みについて	市福祉センター
11	12月 5日	岐阜県社協	197	「平成24年度見守りネットワーク活動推進セミナー」において実践発表	岐阜市長良川国際会議場
12	12月 6日	前橋市社協	25	前橋市内地区社協会長研修 ・大田原市安心生活創造事業の取り組みを説明	黒羽川西地区公民館
13	12月11日	宮崎県社協	25	「平成24年度コミュニケーション研修会」において実践発表とグループワーク	宮崎市J A・A Z Mホール
14	12月21日	日光市大沢地区社協	33	佐久山地区における見守り活動の概要、佐久山地区社協の事業概要と食事サービスについて	市福祉センター
15	1月31日	那珂川町健康福祉課	2	大田原市の安心生活創造事業による見守り活動についての説明と視察研修について打合せ。	市福祉センター
16	2月15日	那珂川町	20	佐久山地区における見守り活動の概要、佐久山地区社協の事業概要と食事サービスについて	市福祉センター

17	2月28日	群馬県みどり市社協	12	安心生活創造事業の概要	黒羽川西地区公民館
18	3月24日	矢板市片岡地区コミュニティ協議会	40	安心生活創造事業の概要	矢板市
19	3月28日	那珂川町健康福祉課	20	大田原市の安心生活創造事業による見守り活動についての説明。	那珂川町創造福祉センター

参加延べ人数 897人 開催延べ回数 19回

○安心生活創造事業会議等

NO	月 日	内 容	会 場
1	8月 9日	地区社協安心生活創造事業未実施地区年度計画会議	大田原市庁舎A棟
2	10月16日	安心生活創造事業推進委員会①	市福祉センター
3	2月20日	安心生活創造事業推進委員会②	市福祉センター
4	2月23日	地域支え合いフォーラム (260名)	文化会館
5	2月27日	安心生活創造事業関係機関連絡会議	東地区公民館

●救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布した「救急医療情報キット」に関し、市社協では、親園、佐久山、西部地区の見守り隊員（会員）と協力して、見守り対象者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行った。

平成24年度配布本数 334本

④ 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行った。配布時には見守り活動も兼ねている。

地区社協名	24年度食事数	実施回数	対象者数	前年度食事数
大田原東部地区社協	889食	12回	78人	867食
大田原西部地区社協	1,871食	48回	48人	1,734食
紫塚地区社協	2,295食	37回	56人	2,195食
金田地区社協	888食	24回	40人	930食
親園地区社協	260食	24回	13人	231食

野崎地区社協	1,119食	46回	28人	1,320食
佐久山地区社協	512食	23回	24人	461食
湯津上地区社協	806食	13回	73人	747食
黒羽地区社協	537食	10回	71人	471食
川西地区社協	448食	6回	80人	412食
両郷地区社協	179食	10回	23人	184食
須賀川地区社協	233食	5回	88人	225食
市ボランティア連絡協議会 (黒羽支部)	529食	4回	160人	492食
合 計	10,566食	262回	782人	10,269食

⑤ 総合相談事業の実施

市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行った。市民の日常生活上の心配ごとや不安の相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設した。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けた。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター
黒羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所

○心配ごと相談 種別ごとの年間利用状況

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	18	就職	3	家族	7	健康	2	医療	1	人権	0
年金	0	住宅	2	結婚	0	離婚	0	事故	1	財産	3
精神保健	0	児童福祉	0	教育・青少年	0	心身障害	0	老人福祉	7	母子福祉	1
その他	6	苦情	4					総相談件数		55件	

⑥ 地域福祉活動計画の推進

大田原市地域福祉活動推進委員会を設置し、地域や関係団体・関係機関の参加を得ながら計画の基本理念、基本目標に沿った地域活動の推進を目指し、活動状況と課題の把握に努めた。24年度は、関係団体・機関から「取り組み状況確認シート」の作成および聞き取りを行い、評価を行った。

○推進委員会の開催（推進委員25名）

推進委員会	開催日	内 容	出席者数
第1回	7月25日	これまでの推進委員会から見えてきたこと	17名
第2回	3月11日	聞き取り調査の結果 次期地域福祉活動計画の策定	17名

⑦ 市福祉センター、市ボランティア活動センター（ユーアイ館）の管理運営

市からの委託を受けて、市福祉センター及び市ボランティア活動センター（ユーアイ館）の管理運営にあたり、各種講座や会合、集会等に次のとおり利用があった。

区 分	総数	研修室	婦人室	調理室	相談室
市福祉センター	618件	279件	167件	65件	107件
ボランティア活動センター	777件				

○「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に設置している「おもちゃの図書館」の運営を行った。

3) 「生きがいのある地域づくり」を目指して

① 地域福祉啓発イベントの開催

ア. 「第23回与一の里大田原市産業文化祭」等への参加

社協事業の紹介PR、車椅子等の体験、福祉相談の実施に努めるとともに、赤い羽根共同募金に対する来場者への協力を要請した。また、道の駅収穫祭や黒羽まつりに参加し、社協のPR、共同募金活動を実施した。

イ. ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援

「ともに生きるまちづくり」について考える地域福祉啓発イベントを企画・実施する「ぼくらのまちのウォークラリー実行委員会」の支援を行った。

子どもも高齢者もハンディのある人もない人も、すべての人たちが一緒に楽しむ体験を通して、相互の理解を図り、連帯感を高め、「ともに生きるまちづ

くり」を進めることを目的とするものである。

- ・日 時：10月28日（日）午前9時45分～午後1時
- ・場 所：湯津上地区公民館（雨天のため屋内で実施）
- ・参加者：97名 ボランティア55名 実行委員27名

② 生きがい講座の開催

仲間づくりや生きがいづくりをねらいとして、高齢者を対象にスポーツダンス初級(藤田定夫講師)、囲碁講座(大久保博講師)の2講座を開催した。陶芸教室(黒羽地区)については、市の高齢者生きがいづくり講座へ移管している。

講 座 名	期 間	受講者数	開催回数
スポーツダンス講座 (市勤労青少年ホーム)	4月～3月の第1・3水曜日	24名	23回
囲碁講座 (美原ほほえみセンター)	7月～3月の第2・4土曜日	36名	18回

③ 災害にも強い地域づくり事業の推進

ア. 災害ボランティアセンター運営連絡会の設置・開催

災害時のボランティア活動支援を迅速かつ円滑に開設・運営できるよう、また日常の関係団体・機関等の連携を進めるため、大田原市ボランティアセンター運営連絡会を設置した。

「大田原市災害ボランティアセンター」は「大田原市地域防災計画」に基づき、大規模災害発生時などに、災害ボランティアの活動拠点として市社協に設置されるもので、被災地の復旧・復興支援のためのボランティア受入と活動の支援を行うものである。

- 構成団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・IUHWボランティアセンター（国際医療福祉大学）・大田原市（保健福祉部福祉課・総合政策部危機管理課）・市社会福祉協議会

○連絡会の開催（委員13名）

回 数	開催日	内 容	出席者数
第1回	11月5日	災害ボランティアセンター連絡会について	12名

第2回	3月7日	「災害ボランティアセンター運営指針」について	12名
-----	------	------------------------	-----

イ. 「災害ボランティアセンター運営指針」の作成

災害発生時に設置される「大田原市災害ボランティアセンター」をスムーズに運営するために、「大田原市災害ボランティアセンター運営指針」を作成した。

ウ. 避難している人への支援

東日本大震災で主に原発の影響で福島県から大田原市内に避難されている方の当事者の集まりとしての組織「しゃくなげ交流会」に対し、世代間交流喫茶「いってみっけ」と協働して支援を行った。

④ 歳末見舞金の配布

低所得世帯等に対する歳末見舞金配付について、民生委員・児童委員の協力を得て、対象者を把握し、169世帯に1,128,000円の見舞金を配布した。

4) 「健康に生活するための環境づくり」を目指して

① ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業の推進

在宅のねたきり高齢者等（要介護3以上及び重度の障害者等）に対し、紙おむつ・尿取りパットを無償給付した。

○給付状況

・対象者数 494人（年平均）・給付金額 18,435,202円（前年比97.6%）				
・種類別給付数				
種 別	フラット型	パンツ型	はくパンツ型	合 計
紙おむつ	59パック	1,894パック	3,426パック	5,379パック
(1パックおむつ枚数)	(50枚入り)	(30枚入り)	(30枚入り)	
尿とりパット	10,830袋			10,830袋

② 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、老人クラブの協力を得て、月2回～3回の友愛訪問活動を実施し、1老人クラブ5,000円の助成を行った。（平成24年度は、26クラブに助成。）

③ 日常生活用具貸与事業の推進

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子など2品目について無償貸与した。

○品目別貸与状況 (湯津上支所、黒羽支所分を含む)

品目別	ギャッジベッド	車椅子	計
貸出件数	69件	158件	227件
保有数量	39台	62台	(H23年度 175件)

④ 低所得者対策等の推進

ア. 生活福祉資金の貸付・償還

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行った。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」等4種類である。低所得者世帯、失業者、障害者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施した。

○貸付・償還状況 (平成24年度)

貸付	新規貸付 3件	福祉資金(緊急小口資金) 3件
	貸付中 2件	教育支援資金 2件
償還	償還中 53件	福祉資金11件、福祉資金(緊急小口資金) 10件、教育支援資金17件、離職者支援資金4件、総合支援資金9件、臨時特例つなぎ資金2件
	償還完了 5件	福祉資金2件、福祉資金(緊急小口資金) 2件、教育支援資金 1件

イ. 福祉金庫の貸付け

福祉金庫設置要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っている。善意銀行の拠出金を原資として、1借受人2万円を限度として10ヶ月無利子月賦償還する制度であり、その運営状況は次のとおりである。

○貸付・償還状況（平成24年度）

前年度末残高	A	1,883,900円	・前年度償還未済額 660,000円
24年度	貸付金額	B 535,000円	・新規貸出件数27件
	償還金額	C 516,000円	・償還完了件数15件
	預金利子	D 379円	・普通預金利子
	残高	E 1,865,279円	年度繰越 (A-B+C+D)

※年度末貸付償還未済額は、679,000円

⑤ 居宅介護支援事業・訪問介護事業の推進

ア. 介護保険法による在宅サービス事業所としての事業

○居宅介護支援事業（湯津上事業所、黒羽事業所を含む）

	24年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	16,667,176円	20,225,818円	82.4%
年間延べ利用者数	1,392人	1,711人	81.4%
月平均利用者数	116人	143人	81.1%
介護支援専門員数	6人	6人	100.0%

○訪問介護事業（黒羽事業所を含む）

	24年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	29,932,023円	37,782,694円	79.2%
年間延べ利用者数	873人	1,045人	83.5%
月平均利用者数	73人	87人	83.9%
ホームヘルパー数	26人	28人	92.9%

イ. 介護予防支援事業の業務受託

要支援1・2の判定を受けた方のケアプラン作成を指定介護予防支援事業所（地域包括支援センター）から受託し、介護予防支援事業を実施した。

○受託の状況

	利用回数			受託金額(円)	
	初回	2ヵ月以降	合計		
市中央地域包括支援センター	3	88	91	24年度実績	23年度実績
市西部地域包括支援センター	3	92	95		
市東部地域包括支援センター	15	137	152	1,397,035	1,219,560
合計	21	317	338		

前年比114.6%

⑥ 障害福祉サービスの推進

障害者自立支援法に基づく在宅サービス事業所として、在宅の身体障害者等に対し居宅介護等のサービスを実施した。その実施状況は次のとおりである。（黒羽事業所を含む）

	24年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	8,690,823円	8,606,421円	101.0%
年間延べ利用者数	275人	218人	126.1%
月平均利用者数	23人	19人	121.1%

⑦ 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない自立認定者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を市から受託し、訪問介護事業を実施した。なお、自立認定者が介護保険対象者となり、徐々に減少する傾向にある。

（黒羽支所を含む）

	24年度実績	前年度実績	前年比
年間受託額	223,000円	418,000円	53.3%
年間延べ利用者数	28人	41人	68.3%
月平均利用者数	2.3人	3.4人	67.6%

⑧ 高齢者等外出支援事業の推進

在宅のひとり暮らし高齢者等の通院等に必要な交通の便を確保し、福祉の向上を図ることを目的とした、「大田原市高齢者等外出支援事業」を市から受託し、運行業務、車両管理業務等は、山和タクシー・NPO法人サポートセンター清流に委託し事業の適切な運営に努めた。

○外出支援事業延べ利用回数 15,944回（受委託金額 22,767,200円）

⑨ 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で収支の判断が不十分な方の金銭管理や書類預かり等を行う、日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施した。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めた。

○あすてらす利用状況

平成24年度状況	生活支援利用者数	備 考
年度当初	36名	
新規契約	17名	
解約（死亡・解約）	△8名	死亡3人、申出解約6人
平成24年度末現在	45名	

・専 門 員 2人 ・生活支援員 18人（社協職員5人含む）
（内訳：大田原11人、湯津上1人、黒羽6人）

・主な支援内容

 日常的金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の
 支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）

・各種相談（弁護士による専門相談「年3回（5月、9月、1月）」、一般相談）

⑩ 福祉サービス苦情解決に関する第三者委員会の設置

各事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図った。

5) 財産基盤の確立

① 共同募金事業への協力推進

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行った。平成24年8月24日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議した。

○平成24年度共同募金実績一覧

（単位：円）

種 別	募金目標額	募金実績額	達成率（%）	前年度実績額
戸別募金	5,798,000	5,918,115	102.1	6,059,137
特別募金	3,619,000	3,629,254	100.1	3,665,111
街頭募金	342,000	294,830	86.2	407,669
学校募金	220,000	241,915	110.0	243,773
職域募金	418,000	526,963	126.1	419,387
イベント募金等	107,000	121,801	113.9	122,154
合 計	10,504,000	10,732,878	102.3	10,917,231

○共同募金配分金事業

平成23年度の募金実績に応じて、県共同募金会から6,455,231円が大田原市支会に配分された。配分先は以下の通り。

- ・食事サービス助成の一部へ 4,171,800円
- ・友愛訪問活動支援 130,000円 (26老人クラブ)
- ・福祉小冊子「ともに生きる」印刷費の一部へ 325,431円
- ・市ボランティア連絡協議会活動助成 400,000円
- ・市民生委員児童委員協議会連合会助成 300,000円
- ・歳末見舞金配布 1,128,000円 (169世帯)

② 善意銀行の運営推進

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めた。

=普通預金会計=

平成24年度収支状況	収入の部	前年度繰越金	5,519,789円	
		預託金額 (H24.4.1～ H25.3.31)	436,000円	預託者(敬称略) 栗原敏子、おおたわら福祉ふれあいまつり実行委員会、蓮実光生、大田原市農村生活研究グループ、日本電信電話ユーザー協議会大田原地区協会
		預金利子	1,111円	普通預金利子
		(合計)	5,956,900円	
	支出の部	配分金額	695,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・市ボランティア連絡協議会 260,000円 ・市老人クラブ連合会 80,000円 ・市身障児(者)保護者会 80,000円 ・市身体障害者福祉会 190,000円 ・市母子寡婦福祉連合会 80,000円 ・黒羽地区社会福祉協議会 (指定寄附) 5,000円
		(合計)	695,000円	
		収入支出差引残高	5,261,900円	

物品預託者 (敬省略)	<input type="checkbox"/> 連合栃木那須地域協議会 タオル200本 <input type="checkbox"/> 山崎錠太郎 紙オムツ54枚 <input type="checkbox"/> 小泉善弘 紙オムツ10枚、尿取りパット252枚 <input type="checkbox"/> 匿名 紙オムツ5箱、5袋、尿取りパット4箱 <input type="checkbox"/> 栃木県民共済生活協同組合 軽自動車1台 <input type="checkbox"/> 社団法人栃木県医薬品配置協会 ハップ材(6枚入150袋) <input type="checkbox"/> (有)アームズ 車椅子1台 <input type="checkbox"/> 大田原高等学校 雑巾350枚 <input type="checkbox"/> 東電常備労組栃木北支部女性委員 タオル100本 <input type="checkbox"/> コーヒーカップ 車椅子1台
----------------	--

③ 地域福祉基金の推進

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金(ぎんなん基金)」が設けられている。寄附、利息等による基金の運用を行っている。

○ 基金運用状況

前年度末基金原資残高 ①	247,138,160円	
平成24年度寄付金額 ②	314,185円	・寄付件数 9件 (20,000円以上の寄付者名) 栃木歌謡友の会、紫塚地区社協、大田原市仏教会、大田原西部地区社協、藤田隆雄、大田原ライオンズクラブ
野村証券配当、利息等 ③	1,098,878円	平成23年栃木県公募債利金含
地域福祉推進事業へ繰出 ④	1,098,878円	高齢者等紙おむつ等配布事業費
平成24年度原資取崩額 ⑤	8,118,724円	
本年度末基金原資残高 ①+②+③-④-⑤	239,333,621円	定期預金へ積立

- その他の事項 -

1) 表彰等受賞者氏名(敬称略)

○ 栃木県知事表彰

(8月30日 第18回「県民福祉のつどい」において表彰)

・ 共同募金運動協力団体又は協力者

学校法人TBC学院国際自動車・ビューティ専門学校

齋藤利和(経塚自治会長)、新垣 稔(旭町自治会長)

人見 充(下町1区自治会長)、村上 命(富士見ハイツ自治会長)

岡本憲一（桧木沢サイプレス自治会長）

○栃木県社会福祉協議会会長表彰

（8月30日 第18回「県民福祉のつどい」において表彰）

- ・施設・団体功労者

清水美香（大田原市社会福祉協議会）

○栃木県共同募金会会長表彰

（8月30日 第18回「県民福祉のつどい」において表彰）

- ・共同募金功労者

稲田正夫（新道自治会長）、鈴木多喜（西原自治会長）

前沢一久（原町自治会長）、小松英昭（河原自治会長）

○全国社会福祉協議会会長表彰

（11月16日 平成24年度「全国社会福祉大会」において表彰）

- ・民生委員・児童委員功労者

須田和枝

○中央共同募金会会長表彰

（11月16日 平成24年度「全国社会福祉大会」において表彰）

- ・共同募金運動奉仕功労者

江連春彦（川下刈切平林自治会長）

- ・共同募金運動従事功労者

益子浩資（大田原市社会福祉協議会）

○厚生労働大臣表彰

（11月16日 平成24年度「全国社会福祉大会」において表彰）

- ・共同募金運動奉仕功労者

石井一男（神明町自治会長）、吉川恵造（上町自治会長）